

令和4年1月8日

一般社団法人 神奈川県バスケットボール協会

第43回関東ミニバスケットボール大会

新型コロナウイルス感染症に関する大会実施ガイドライン

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが掴みきれない中、感染拡大防止の知見のもとに情報を把握し、統一された規準に基づいて行動する必要があります。

第43回関東大会の実施に際し、2021年9月9日付け作成の「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン」第4版(以下、「JBAガイドライン」という。)を参照して作成した本ガイドラインに基づき、チーム関係者および大会役員等は、安全安心を第一に行動してください。

今後、感染状況など国内情勢の変化により、さらにガイドラインを変更する可能性もあります。引き続き、神奈川県バスケットボール協会U12部会及び各都県バスケットボール協会との連絡を密に取るようにしてください。

1 大会実施にあたっての基本方針

(1) 安全最優先

選手・チーム、指導者、審判、大会役員の生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除して大会を実施します。

(2) 各自治体の方針優先

神奈川県及び小田原市、南足柄市が作成する感染防止等のガイドライン等の考え方を優先して大会を実施します。

(3) 感染状況による不当な扱いや差別の禁止

感染状況によって選手やチームを不当に扱うことはせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

2 大会実施の可否判断

(1) 判断の方法

神奈川県及び開催市が発出する情報に照らし合わせ、U12関東連絡会及び神奈川県バスケットボール協会にて判断を行います。

(2) 判断の基準日

・12月31日

但し、最終判断後(大会期間中を含む)でも感染等の状況によっては、大会を中止します。

(3) 出場チームの出場辞退

2都県、男女それぞれ3チーム以上の出場辞退があった場合は、大会中止を検討する。

一部チームが出場辞退するが大会を実施する場合は、神奈川県のチームを代行出場させます。

3 感染対策責任者等

(1) 大会の感染防止対策責任者および担当者

感染防止対策責任者：牧野 広良

感染防止対策担当者：水野 典之

(2) チームの感染対策責任者

出場チームは感染防止対策責任者を選定し、大会実施前に主催者に報告してください。

<チームの感染防止対策責任者の役割>

・健康チェックシートとコンディション記録用紙の記入(大会2週間前より作成)と管理を行う。

・大会前に感染者・濃厚接触者が出た場合は、「JBAガイドライン」(P14~21)に準じて判断し、速やかに大会感染防止対策責任者に連絡し、指示に従う。

・大会中に感染者・濃厚接触者・体調不良者が出た場合は、速やかに大会感染防止対策責任者に連絡し、指示に従う。

・大会実施後10日間は、選手等の感染者の発生有無を確認し、感染者が出た場合は、大会感染防止対策担当者に連絡する。

4 大会前の各チームの感染症対策

(1) マスク

日常では感染予防のために「不織布」マスクの着用を推奨します。

また、プレー中に装着する場合は、「布・ウレタン」マスクを脱水症等予防の観点から推奨します。

(2) ワクチン接種

ワクチン接種は、当人の安心感と対外的な信頼感が得られますが、年齢等により接種ができない場合もあり、強制をお願いするものではありません。

また、ワクチン接種をする場合は、副作用による発熱（37.5度以上が目安）であっても大会に参加できなくなる可能性があるため、大会9日前までに接種することを推奨します。

(3) PCR検査・抗原検査

PCR検査と抗原検査は、「陰性」となっても感染を全面的に否定するものとはなりませんので、受検については各チームで判断をお願いします。

(4) 大会直前

大会の2日前から感染予防のために、対外試合や合同練習を行わないでください。

5 大会当日の各チームの感染症対策

(1) 大会1日目

大会初日は、大会前2週間から当日までの参加者全員の体温等の健康状態をコンディション記録用紙に記入して、大会本部に提出してください。

(2) 大会2日目

大会2日目は、朝の検温、体調内容を健康チェックシートに記入して、大会本部に提出してください。

(3) 大会参加の人数制限

大会に参加できる人数(会場に入ることができる人数)は、1チーム30名を上限とします。参加者名簿に記入された方以外の入場はできません。

6 大会期間中の感染症対策

(1) 食事、宿泊

大会期間中はソーシャルディスタンスとマスク着用を徹底し、食事に関しては食べ物の共有・交換をしない等各チームの責任で感染防止に努めてください。

宿泊に関しては、宿泊先の感染防止対策等の決まりにそって感染防止を行ってください。

(2) 大会会場内での感染対策

*小田原アリーナと南足柄体育館の個別会場の留意点については、別紙をご覧ください。

<共通の留意点>

1) マスクの着用

当該試合に登録の選手、及び担当の審判以外は全員マスクの着用をお願いします。

2) 手洗い及び消毒

選手は試合開始1分前の時点で、手のアルコール消毒を行ってください。また、試合終了後は手洗いを行ってください。

3) 試合終了後に使用したベンチの消毒は当該チームで行ってください。

*上記で使用する消毒液等は各チームでご用意ください。

4) 更衣室の使用

更衣室の使用は密を避けるために各会場のルールや役員の指示に従ってください。また、使用の際は必ず保護者同伴をお願いします。

5) 応援

コーチが指示する等以外は声を出しての応援は避けてください。

6) 選手の声出し

試合開始前や終了時のコート上でのエールは行わないでください。

7) 挨拶

試合終了後の相手チームベンチへの挨拶はキャプテン（または代理）1名のみとしてください。

7 陽性者及び濃厚接触者が判明した場合の対応

(1) 報告

大会前日～大会期間中に新型コロナウイルス感染が強く疑われる体調不良者が発生した場合は、速やかに大会主催感染対策責任者へ連絡/報告をしてください。

* チーム関係者以外の大会関係者の場合も同様です。

(2) チーム

体調不良者が発生した場合は、チームが隔離するなどの対応を行うようにしてください。
また、該当者が誹謗中傷を受けないようにチーム内でのケアに十分な配慮をお願いします。

(3) 大会の実施

大会の継続実施等の判断は、必要に応じて自治体・保健所等とも相談のうえU12関東連絡会及び神奈川県バスケットボール協会にて行います。

(4) 判断の基準

1) 大会期間中に出場チーム内に陽性者/濃厚接触者が発生した場合は、原則として大会を中止します。

陽性者/濃厚接触者の対応は当該保健所に要請します。

2) 運営スタッフに陽性者/濃厚接触者が判明した場合は、内容によって対応を検討します。

3) チーム内に新型コロナウイルス感染が強く疑われる体調不良者が発生した場合は、参加を自粛してください。

4) 開催地域・県での感染拡大が懸念されると判断した場合は、事前の取り決めに関わらず、原則として大会を中止します。

8 その他

(1) コロナウイルス感染症のため選手が10人を下回る場合

8人以上の選手が出場できる場合は、大会参加を認めます。ただし、10人を下回る参加の場合には、結果にかかわらず0-20の敗戦となります。

(2) コロナウイルス感染症のため、コーチライセンスを持つコーチが参加できない場合

「コーチ不在の場合の対応」※により対応します。

※【JBA ホームページ：指導者：各大会におけるコーチライセンスの適用について】

以 上